

日 二 十
刊 夕

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町主
鑄鐵兼發行 人 岡田 臥虎
印刷
福島縣石城郡平町紺屋町主
印刷 所 加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町主
發行 所 磐城時報社
一部金貳圓 一ヶ月金五十錢
廣告料 二ヶ月金三十錢
▲日刊 (日曜、祭日) 不刊

新瀉一九、岩手一〇、福島五
兵庫二、

鰯の豊漁で
ホククの七濱

鹿島村で
優良産米

可憐な娘に
横山署長が同情

僅か十圓の借金で
酌婦にならうとした女

十一日午後四時ごろ平署へ酌婦の一步手前で可憐な娘を救ひ上の許可願ひを出した少女あり、
げた。

無燈火取締

と弟妹二人を養つて來たが父の歳未特別取締りのため平署では中風病が最近俄に重態となり是十日夜全署員を動員して平、内非一度醫者にかゝり度いせが郷、湯本、小名濱、江名の主要むので娘心に同じ朝湯本町料理町村に於て自動車、自轉車、荷店和歌迺家事興田とら方に僅か馬車の無燈火取締りを行つたが十圓で酌婦に往込ことになつた平四五、内郷一八、湯本二四、事情を涙ながらに語つたので横小名濱一八、江名二、合計百七山署長はいたく同情し人事相談件の無燈火を發見即決一圓乃至所から十圓の金を出して魔の淵三圓の科料處分に付した。

炭礦景氣を目前に

凶作地から来る労働者

けふも平紹介所に十七名
直ちに炭礦に就職

酒
釀
造
高

因作地の山形縣地方から炭礦景炭礦勿來坑に就職した。
氣を當て込んで常磐地方に嫁人が續々押し寄せて來る事既報の如くであるが、十二日朝山形縣東村山郡出羽村から二名、北村山郡戸澤村から十二名、西村山郡川土居村から三名合計十七名の酒造家總計一萬三千五百六十來り何れも磐城炭礦並に大日本六石で前年の一萬四千七百七十

明年度の
酒釀造高

鑛産税に現はれた

常磐の探礦熱

金鑛試掘の増加

▲小麥品質評會

會では十二日午前十時から平町團體事務所で各町村農業技術員を招き小麥増殖品評會開催日取り等について協議した。

消防問答集

平消防組(記)

盤景陳列

町白銀町華道教授高橋光素

幼
兒
樂
か
る

門鄉村大字向水字入山三七

は十一日午後一時頃自宅の車庫で遊戯中折

して來た平機關庫會川鶴

(今の警察官)より成れ
消役なる者を江戸に置

り之即ち我國消防の起

設消防(義勇消防)の二

問 官設消防の組織如何
答 一、消防部長 二、消防

より成る
公設消防の組織如何

優良産米

稻城地方の農村も冷害に依る産

浴場で盗む 田村郡

親町生れ竊盜前科一犯自稱鹽
五郎(三二)は十日迄勿來町大

ナカ取調へた處、同落場で
件の竊盜をなした余罪も自

た

三、小頭 四、伍長

五
成る

(二) 突の検査、灰置場の注意
火災に對する防禦策

訓練、火災の迅速発見の方法、出場方法、迅速防禦着

後援隊とは私設消防、消
後援會、私設救護班等云

